能 安達原 伯母ケ酒 鬼



2025年 9/23 (火·祝)

小金井 宮地楽器ホール 大ホール 14:00 開演 13:30 開場

【チケット】全席指定(小学生以上) 8席7,000円 A席5,000円

- 2025 年 7月 1 日発売 ●小金井宮地楽器ホールチケットカウンター 小金井市本町 6-14-45
 - ●電子チケットぴあ https://t.pia.jp Pコード 534-920

[お問合せ] 小金井薪能事務局 042-384-8753 (10:00~16:00 上曜-日曜・祝日除く)

主催:小金井薪能 後援:小金井市

東京小金井ロータリークラブ 東京小金井さくらロークリークラブ 国際ソロプチミスド東京小金井 小金井青年会議所 (株)ジェイコム和京



安達原 あだちがはら

奥州安達が原の黒塚には鬼女が棲むと言われる。旅人に宿を貸しその 肉を食すという。因果の病がそうさせるのか。通りがかった熊野の山 伏は一夜の宿を借りるが、本性を現した鬼女を祈り伏せる。秋の鬼物 の名曲です。別名は黒塚といい歌舞伎舞踊にもなっている。

里女・鬼女 津村禮次郎

山伏 野口能弘 野口琢弘

能力 山本則孝

大鼓 安福光雄 笛 藤田貴寛 小鼓 幸 正昭 太鼓 澤田晃良

後見 加藤眞悟 新井麻衣子

地謡 中所宜夫 松山隆之 川口晃平 土田英貴

伯母ヶ酒 狂言 おばがさけ

酒好きの若者太郎冠者は伯母が酒屋を営んでいるが、一度も酒を振 舞ってもらったことがない。何とかして酒蔵の酒を飲ませてもらいたい がなかなか実現しない。そこで近頃この辺りには鬼が出るなどと伯母 を脅して帰るが・・・。

太郎冠者 山本泰太郎 伯母 山本則孝

後見 加藤 元

創作舞劇

鬼はどこにいるのか。社会体制の埒外に追いやられて鬼にさせられた存在。 日本には様々な鬼が語られ伝えられている。

大江山の鬼、羅生門の鬼、桃太郎に退治された鬼達。そんな鬼伝説に迫 りながら人間の中に存在する鬼にも気づかされる。

森山開次自身の前作「雨ニモマケズ」に続いての力作となる。

演出・振付 森山開次

作舞 津村禮次郎

作曲・音楽監修 渋谷牧人

舞人 森山開次 吉﨑裕哉 津村禮次郎

箏 奥田雅樂之一 笛 大野利可

五十嵐あさか 後見 新井麻衣子 筒井陽子 中村明日香 チェロ

衣裳 和太鼓 坂本雅幸 植田和子

倉田康治 舞台美術

瀬戸あずさ

(balance,inc.DESIGN)

音響 市川隼人 齋藤亮介 ※会場内での写真撮影、ビデオ撮影、録音 は著作権法上、固くお断り申し上げます。

※携帯電話の電源は必ずお切りください。

お問合せ

舞台監督

小金井薪能事務局

TEL 042-384-8753

(10 時~16 時 土日祝日を除く)

HP: https://koganeitakiginou.jp





津村禮次郎 つむられいじろう

能楽師シテ方観世流。緑泉会会主。津村紀三子、 観世喜之に師事。重要無形文化財保持。79年より 小金井薪能を企画制作、本年で第47回。古典能 公演の他、アレッシオ・シルベストリン、森山開次 等との創作活動や海外公演多数。



野口能弘 のぐちゃすひろ

下掛け宝生流ワキ方。野口敦弘の長男。東京芸 術大学音楽部卒業、能楽協会会員。故・宝生閑 及び父・敦弘に師事。4歳で初舞台。オランダ、オー ストラリア、ドイツ、ポーランドなど海外公演に参 加。重要無形文化財総合指定。



山本泰太郎 やまもと やすたろう

1971年生。山本則直の長男。77年「靱猿」の子 猿で初舞台。90年「三番三」披き。96年「釣狐」 披き。2005年「花子」披き。10年芸術祭優秀賞 受賞。11年日本伝統文化振興財団賞受賞。父お よび山本東次郎に師事。



森山開次 もりやまかいじ

舞踊家、演出家。東京2020パラリンピック開会式 演出・チーフ振付、舞台『千と千尋の神隠し』 カオナシ役など幅広いフィールドで活動。「情熱 大陸」NHKBS ドキュメンタリー「GIGAKU! 踊れシルクロード」などメディア出演多数。



吉崎裕哉 よしざきゅうや

2012年よりNoism、2019年からCo. 山田うんに所属。 国内外50都市以上の作品に主要キャストとして出 演。振付家として新国立劇場『舞姫と牧神たちの 午後 2021』にて「極地の空」を加賀谷香と共同 振付するほか、映像作家としても受賞歴多数。



奥田雅楽之一 おくだ うたのいち

生田流箏曲家・三弦演奏家・作曲家。正派副家元。 国内最大の邦楽団体、正派邦楽会を創始した中 島雅楽之都を曽祖父に持つ。国内外演奏活動、 歌舞伎音楽等作曲を行い、国立能楽堂他で「奥 田雅楽之一演奏会」を定期的に開催。

